

| |
|-------------------|
| 総務常任委員会資料 |
| 2019年（令和元年）12月12日 |
| 政策局都市開発室 |

JR西日本との包括連携協定における取り組み等について

2019年9月26日、本市とJR西日本は、鉄道沿線の「駅を中心としたまちづくり」について、all明石とall JR西日本が連携した取組を図ることができるよう、包括連携協定を締結しました。

本市では、JR各駅及び駅周辺における、市民の利便性と安全性の向上をはじめ、「SDGs未来安心都市・明石」を目指したまちづくりに向けて、JR西日本と以下の取り組みを進めるとともに、検討を行っていますので報告します。

1. これまでの取り組み及びJR西日本からの提案内容

① JR明石駅・西明石駅ホームドアの整備

障害者や高齢者をはじめ、誰もが安全で快適に鉄道を利用できるよう、障害者当事者団体、市議会、商工会議所などの関係各位と共にJR西日本へ働きかけるとともに、整備費への補助を行い、JR明石駅及び西明石駅へのホームドアの整備を計画的に進めています。

《事業計画概要》

JR明石駅（3番線・4番線）への昇降式ホームドアの整備

・事業期間 平成29年度～令和元年度（予定）

JR西明石駅（5番線・6番線）への昇降式ホームドアの整備

・事業期間 平成30年度～令和2年度（令和元年度 工事着手（予定））

②（仮称）あかし観光案内所（ユニバーサルツーリズムセンター）

東京2020オリンピック・パラリンピックを契機に共生社会の実現を目指す「共生社会ホストタウン」に本市が登録されたことを受け、誰にも優しい「ユニバーサルデザインのまちづくり」を進めるなか、明石駅南出口側（ピオレ明石西館内）に、障害の有無、年齢、性別、言語などにかかわらず、高齢者や子育て世代など誰もが利用しやすい、優しい観光案内所、ユニバーサルデザインの公共トイレ等を備える「（仮称）あかし観光案内所（ユニバーサルツーリズムセンター）」の整備を行っています。

③ 南畑踏切の安全対策

南畑踏切は踏切間の距離や閉鎖時間が長いなど危険な踏切であることから、エレベーター付横断歩道橋の整備を計画しています。

《事業計画概要》

・事業期間 平成30年度～令和5年度 踏切廃止（予定）

④ 西明石駅周辺の活性化

西明石活性化プロジェクト協議会にて示された課題の解決に向け、本市が所有する旧国鉄清算事業団用地の開発はもとより、駅及び駅周辺のバリアフリー化や利便性の向上にも配慮しな

がら、ＪＲ西日本との共同によるエリア全体のまちづくりの検討を行っています。

⑤ ＪＲ西日本からの提案

この度、ＪＲ西日本より社として本市を「車両所」設置の候補地としたい旨の提案がございました。また、ＪＲ西日本が「駅を中心としたまちづくり」を社の方針としてその管内で進めていたことから、「新駅」の位置についてもあわせて提案があり、それらの考え方について確認をしているところです。

この間における市とＪＲ西日本との協議の内容につきましては、ＪＲ西日本として考える、「車両所」の位置、規模及び、新駅の位置や、まちづくりなどにつきましても、イメージの域を超えないものであり、事業として具体的といえる内容ではないという認識でございます。

したがいまして、現時点では、その内容について確認中であり、本市としましては、全く白紙の状態です。

今後、これら様々な点につきましてＪＲ西日本に説明を求め整理し、まずは、市民の皆様や議会のご意見を伺ってまいります。